



北部訓練場過半返還



返還式典での記念撮影



式典に出席されたケネディ在日米国大使(右)ら米側関係者



式典に出席された菅内閣官房長官(左)ら日本側関係者

目次

CONTENTS

北部訓練場の過半の返還について・・・・・・・・・・ 2
 北部訓練場返還式及び懇親会開催・・・・・・・・・・ 3
 若宮防衛副大臣の沖縄訪問・・・・・・・・・・ 6
 茂木自由民主党政務調査会長の沖縄訪問・・・・・・・・ 6
 平成29年度沖縄関係予算政府案決定・・・・・・・・・・ 7
 防衛施設周辺対策事業・・・・・・・・・・ 8

入札・契約制度説明会の実施・・・・・・・・・・ 9
 平成28年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式・・・・・・・・ 9
 美ら島エアフェスタ2016開催・・・・・・・・・・ 10
 県内各地でクリスマスイベント開催・・・・・・・・・・ 11
 辺野古区及び豊原区で区民運動会開催・・・・・・・・・・ 12
 陸上自衛隊第15旅団「旅団音楽まつり」開催・・・・ 12

北部訓練場の過半の返還について

沖縄県における在日米軍施設・区域の整理・統合・縮小に向け、平成8年12月のSACO最終報告に基づき、国頭村及び東村に所在する北部訓練場の過半の返還が平成28年12月22日に実現し、同日、返還式が行われました。

土地所有者並びに国頭村長、東村長をはじめとする地元の方々これまでの御理解・御協力及び返還実現のために尽力していただいた米軍関係者に対し感謝申し上げます。

返還跡地の有効活用策としては、国立公園の指定や世界遺産への登録を目指すとしています。

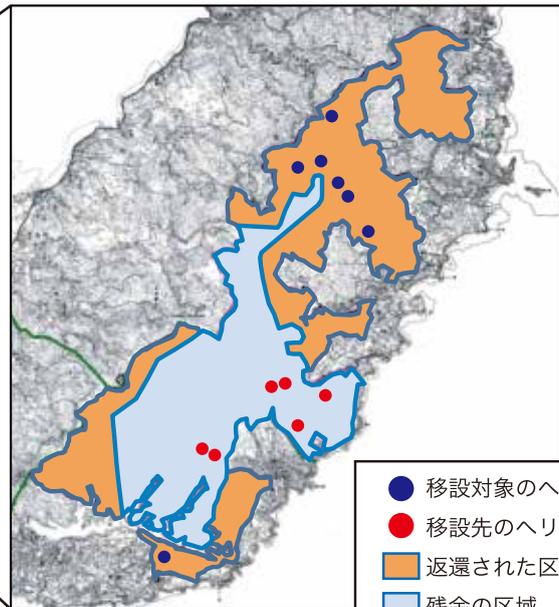
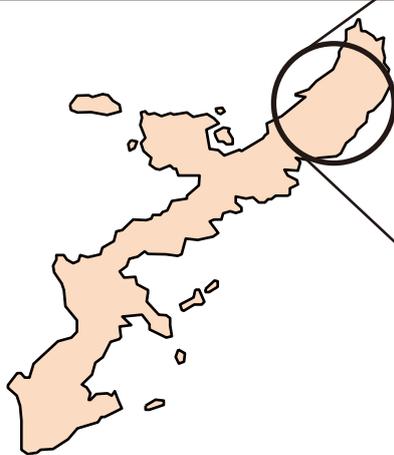
ここでは、返還の概要、経緯などについて紹介いたします。

● 北部訓練場の過半の返還の概要

- ◎ 北部訓練場は、面積約7,500ヘクタールを有する沖縄県最大の在日米軍施設・区域
- ◎ 平成8年12月のSACO最終報告において、北部訓練場の過半(約4,000ヘクタール)の返還に合意
- ※ 返還条件:返還区域にあるヘリパッド(7か所)を残余の部分に移設(6か所)

- ◎ **平成28年12月22日**、ヘリパッドを移設し、**北部訓練場の過半、約4,000ヘクタールの返還が実現**
- ※これにより、沖縄における米軍専用施設・区域の約2割を返還

ヘリパッドの移設により、
過半(約4,000ha)の返還を実現
面積:約7,500ha → 面積:約3,500ha



- 移設対象のヘリパッド
- 移設先のヘリパッド
- 返還された区域
- 残余の区域

● 北部訓練場の過半の返還の主な経緯

- ・平成11年4月、7か所のヘリコプター着陸帯を移設等の後、過半を返還することで日米合同委員会合意
- ・平成18年2月、平成11年4月の合意の変更(ヘリコプター着陸帯を7か所から6か所に、造成規模を直径75mから45mに変更)について日米合同委員会合意
- ・平成19年3月、ヘリコプター着陸帯(6か所のうち3か所)の建設の実施について日米合同委員会合意
- ・平成20年1月、ヘリコプター着陸帯(残り3か所)の建設の実施について日米合同委員会合意
- ・平成26年7月、ヘリコプター着陸帯(2か所)が完成
- ・平成27年2月、ヘリコプター着陸帯(2か所)を提供
- ・平成28年12月、ヘリコプター着陸帯(4か所)が完成し、提供
- ・平成28年12月22日、**北部訓練場の過半の返還**

北部訓練場返還式の開催

平成28年12月22日、北部訓練場の返還式を開催しました。

返還式及び懇親会では、菅内閣官房長官、稲田防衛大臣、ケネディ駐日米国大使をはじめとする多数の関係者が出席し、返還を祝いました。

返還式では、来賓挨拶として、菅内閣官房長官、稲田防衛大臣、ケネディ駐日米国大使、マルティネス在日米軍司令官、茂木自由民主党政務調査会長が挨拶を述べられました。その後、米国側から日本側へ、北部訓練場の過半の返還を示す写真が贈呈されました。

また、懇親会においては、石原内閣府副大臣、藺浦外務副大臣、マラヴェット米海兵隊太平洋基地司令官、宮城国頭村長、伊集東村長が挨拶を述べられたほか、中谷前防衛大臣による乾杯の音頭により、参加者一同和やかな雰囲気の中歓談し、北部訓練場の過半の返還を心から祝いました。

菅内閣官房長官挨拶



本日、地元から国頭村、東村の両村長、そして高江区長、米国側からは、ケネディ大使、マルティネス司令官をはじめ、御関係皆様方も御出席を頂きまして、北部訓練場の過半、4,000ヘクタールの返還式がこのように挙行できますことを大変嬉しく思う次第であります。

安倍政権発足以来4年になります。沖縄の基地負担軽減のために、「できることはすべてやる、そして目に見える形で実現する」という思いで、今日まで全力で取り組んでまいりました。

この度の返還は、沖縄の本土復帰後、最大規模のものであり、県内の米軍施設の面積が約2割減少し、沖縄の基地負担軽減に大きく資するものと考えております。

平成8年のSACO合意以来、20年の歳月を経て、ようやく、返還を実現することができました。今日に至るまで、地元の皆様、また御出席の皆様方の大変な御理解のおかげと心から感謝、そして御礼を申し上げる次第でございます。皆様、本当にありがとうございました。

地元の国頭村、東村では、返還跡地の有効活用として、国立公園の指定、そして世界自然遺産への登録の実現を目指すとして、皆様方が大変強い思いを抱いておられますことを私どもも承知いたしております。豊かな自然を活かして、この機会に、両村が一層発展を続けることができるように、政府としては、必要な支援を行ってまいりたいと思います。

また、この10月に国会で成立しました予算の中に本部港に20万トン級の乗客5,000人規模のクルーズ船が接岸できる岸壁を整備をする措置が講じられております。近々、その設計に取りかかる予定であります。こうしたことも相まって、北部の観光振興には大きく寄与するものと考えております。

国頭村、東村の住民の皆様方には、これまでも工事において日常生活に大変な御迷惑をおかけしました。また更にヘリパッドの移設により、引き続き、御負担をおかけすることになるとは思いますが、地元の両村から強い要請のありました返還後における財政措置や地域振興策については、確実に実施することをお約束いたします。

政府としては、米軍機の飛行に当たっては、安全面の確保が大前提と考えております。その確保や騒音防止に米軍と密接に連携し、住宅地上空を避けたルートを飛行することができるように、引き続き、対応に万全を尽くしてまいりたいと思います。

今後とも、沖縄の基地負担、更には振興に、政府としては全力で取り組んでまいります。どうぞ皆様方には御理解をいただき、また、御協力を賜りますことを心からお願いをいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

稲田防衛大臣挨拶

皆様におかれましては、御多忙の折にもかかわらず、御臨席いただき、誠にありがとうございます。

本日、北部訓練場の過半の返還に係る返還式を迎えることができましたことは、ひとえに宮城国頭村長、伊集東村長、ケネディ駐日大使、マルティネス在日米軍司令官をはじめ、日米の関係機関、関係者一人一人の御尽力の成果です。

とりわけ、地元の国頭村、東村の皆様におかれましては、北部訓練場の過半の返還につきまして、これまでの御理解と御協力に、心より感謝申し上げます。

また、この返還について、防衛省は、本年7月以降沖縄防衛局を始め、北海道から九州までの各地方防衛局、そして本省の職員、延べ1万5千6百人を北部訓練場に派遣しました。長期にわたり、厳しい環境の中で、困難を伴いながらも移設工事に関する業務に従事してきた職員諸君にも感謝申し上げます。

このように、多くの関係者の方々に御尽力いただき、その結果、本日、沖縄県内の米軍施設の面積が約2割減となる、本土復帰後、最大規模の返還が実現いたしました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

他方、このような喜ばしい席ではございますが、今年13日に沖縄県名護市沖において米海兵隊のオスプレイが不時着水した事故について申し上げます。

沖縄県民の皆様のみならず、国民全体でこの安全性について非常に大きな関心を持っている状況の中で、このような事故が発生したことは、大変、遺憾に思います。二度とこのような事故が起こらないよう再発防止の徹底を求めてまいります。

さらに、このヘリパッドの移設により影響を受ける国頭村、東村の皆様への配慮も大切です。今般のオスプレイの事故も受けて、防衛省といたしましては、引き続き、米側と協力し、集落上空の飛行を避けるなど、地元の皆様の生活環境への配慮が十分に得られるよう取り組んでまいります。

北部訓練場の過半の返還については、安倍総理のリーダーシップの下、政府一丸となって、全力で取り組んできたところでございます。

引き続き、沖縄の負担軽減のため、最大限努力してまいりますので、今後とも、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

最後に、防衛省といたしましては、我が国の安全保障の基軸である日米同盟の一端を担ってきた誇りと伝統の下、戦後七十一年を経てなお大きな負担を負っていただいている沖縄の基地負担を軽減させるべく、創造の精神をもって取り組んでいくことを申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。



ケネディ 駐日米国大使挨拶



米国が4,000ヘクタールの土地を日本政府と国民に返還する本日の式典は、日米同盟の節目を刻むものであります。この返還におきまして、沖縄の米軍施設・区域の面積が約2割削減され、本来の自然環境を今後の沖縄の世代と、そして沖縄を訪れる人々に楽しんでいただけるようになります。

この返還は、日本全土への米国の安全保障上のコミットメントを維持する一方、ここ沖縄におけます米国のプレゼンスによる影響の軽減に対して私たちが持ち続けている決意を示すものでもあります。

官房長官のリーダーシップに特に感謝いたします。また、本日御出席の両村長をはじめとする地元自治体の皆様か

らの御支持、そして御理解に感謝申し上げたいと思います。

この返還は日本政府、沖縄県庁、そして沖縄防衛局の多くの皆様方の御尽力なしには叶いませんでした。米側では一生懸命働いた同僚達に感謝致します。

しかし何よりも沖縄の県民に対してアメリカ国民に代わりまして謝意を表します。米軍の隊員達は日本防衛の任務を遂行する中で皆様の地域社会に住まわせていただくことを光栄に思っています。

日米のグローバルなパートナーシップは平和と安定の力であります。安倍総理とオバマ大統領の親密な関係のおかげで、日米同盟はかつてなかったほど強固であります。私は日米同盟が今後、ますます発展していこうと思っております。

返還式及び懇親会の様子



マルティネス在日米軍司令官挨拶(返還式)



返還写真の贈呈(返還式)宮城国頭村長



返還写真の贈呈(返還式)伊集東村長



中谷前防衛大臣による乾杯(懇親会)



稲田防衛大臣(中央)と在日米海兵隊司令官(右)、米海兵隊太平洋基地司令官(左)(懇親会)

今般、北部訓練場の過半が、返還を迎えましたことは、ひとえに御列席の皆様を始めとする関係者一人ひとりの御尽力と御協力の賜であり、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

防衛省といたしましても、円滑な跡地利用が可能となるよう、関係者の皆様方と引き続き連携を図りながら、できる限り早期の土地の引渡しに向けて、支障除去措置などをしっかりと進めてまいります。

若宮防衛副大臣の沖縄訪問について

若宮防衛副大臣は、平成28年12月3日から4日の日程で沖縄を訪れました。

3日は、那覇市内で行われた沖縄の基地負担軽減を考える議員有志の会主催の第1回沖縄協議会に出席しました。同協議会出席後、記者団に対し、「沖縄には多くの米軍施設・区域が集中しています。沖縄の県民の皆様方にとって大きな負担となっているこの事実は重く受け止めつつ、日米同盟による抑止力については、しっかりと維持しながら、沖縄の基地負担軽減のために現政権であります『できることはすべて行う、目に見える形で実現する』という基地方針の下、地元の早期返還のご要望を踏まえた形での(北部訓練場の)過半の年内返還を含めた形で施策を着実に進めてまいりたいと思っております」と述べられました。

4日には、国頭村役場で宮城国頭村長と東村役場で伊集東村長とそれぞれ面談しました。



沖縄協議会で挨拶する若宮副大臣



宮城国頭村長との面談



伊集東村長との面談

茂木 自由民主党政務調査会長の沖縄訪問について

平成28年11月8日から9日の日程で自由民主党の茂木政務調査会長が沖縄を訪れました。

8日は、宜野湾市内で沖縄県経済界関係者との夕食懇談会に出席しました。

9日は、まず午前中に宜野湾市の嘉数高台から、中嶋局長の説明を受けながら普天間飛行場視察を行い、その後、同市野嵩3区公民館において普天間飛行場周辺住民との車座集会が開かれ、地元住民と忌憚のない意見交換を行いました。午後には、宮古島市長等との昼食懇談会に出席したほか、国頭及び東村長等と意見交換、また、松本浦添市長の説明を受けながら那覇港湾移設先と西海岸開発予定地視察を行いました。

その後、在沖縄米国総領事館公邸においてエレンライク米国総領事と、沖縄県庁において翁長沖縄県知事とそれぞれ面談しました。



宜野湾市野嵩3区公民館で地元住民と意見交換する茂木政調会長

平成 29 年度 沖縄関係経費

平成 29 年度沖縄防衛局に係る沖縄関係政府予算案は、次のとおりとなりました。

(単位：億円、%)

事 項	平成28年度 予 算 額	平成29年度 予 算 額	対前年度 増▲減額	対前年度 伸 率
1. 基地周辺対策経費	< 183 > 163	< 170 > 191	< ▲ 13 > 28	< ▲ 7.2 > 17.5
住宅防音	< 47 > 47	< 51 > 51	< 3 > 4	< 7.1 > 7.7
周辺環境整備	< 135 > 115	< 119 > 140	< ▲ 16 > 25	< ▲ 12.2 > 21.5
2. 補償経費等	< 1,028 > 1,028	< 1,028 > 1,028	< 1 > ▲ 0	< 0.1 > ▲ 0.05
(1) 施設の借料	1,005	1,006	1	0.1
土地等の借料	990	998	8	0.8
その他(道路使用等)	15	8	▲ 7	▲ 48.6
(2) 漁業補償	10	11	1	9.2
(3) その他の補償等	< 13 > 14	< 12 > 11	< ▲ 1 > ▲ 2	< ▲ 8.8 > ▲ 17.2
3. 基地従業員関係	467	474	7	1.6
4. 提供施設の整備	< 85 > 59	< 74 > 79	< ▲ 11 > 20	< ▲ 13.1 > 34.5
5. 提供施設の移設	< 0 > 19	< - > -	< ▲ 0 > ▲ 19	< ▲ 100.0 > ▲ 100.0
合 計	< 1,763 > 1,736	< 1,746 > 1,772	< ▲ 16 > 37	< ▲ 0.9 > 2.1

平成 29 年度特別行動委員会 (SACO) 関係経費 【 沖縄関係 】

(単位：億円、%)

事 項	平成28年度 予 算 額	平成29年度 予 算 額	対前年度 増▲減額	対前年度 伸 率
1 土地返還のための事業	< 5 > 7	< 14 > 7	< 8 > ▲ 0	< 2.6倍 > ▲ 0.1
2 訓練改善のための事業	0	0	▲ 0	▲ 21.2
3 騒音軽減のための事業	< 5 > 8	< 3 > 5	< ▲ 2 > ▲ 2	< ▲ 41.7 > ▲ 29.2
合 計	< 11 > 15	< 17 > 13	< 6 > ▲ 2	< 57.2 > ▲ 15.1

平成 29 年度米軍再編関係経費 (地元負担軽減に資する措置) 【 沖縄関係 】

(単位：億円、%)

事 項	平成28年度 予 算 額	平成29年度 予 算 額	対前年度 増▲減額	対前年度 伸 率
1 沖縄における再編のための事業	< 1,812 > 690	< 1,760 > 636	< ▲ 52 > ▲ 55	< ▲ 2.8 > ▲ 7.9
(1) 普天間飛行場の移設	< 1,707 > 595	< 1,704 > 536	< ▲ 3 > ▲ 59	< ▲ 0.2 > ▲ 9.9
(2) 嘉手納以南の土地の返還	< 105 > 95	< 56 > 99	< ▲ 49 > 4	< ▲ 46.6 > 4.5
2 再編関連措置の円滑化を図るための事業	43	33	▲ 9	▲ 22.3
合 計	< 1,855 > 733	< 1,793 > 669	< ▲ 61 > ▲ 64	< ▲ 3.3 > ▲ 8.8

注：1 上段< >内は、契約ベースです。
 2 計数は、四捨五入によっているので符合しないことがあります。
 3 表中における符号「0」は単位未満です。

名護市数久田地区におけるダム建設工事定礎式

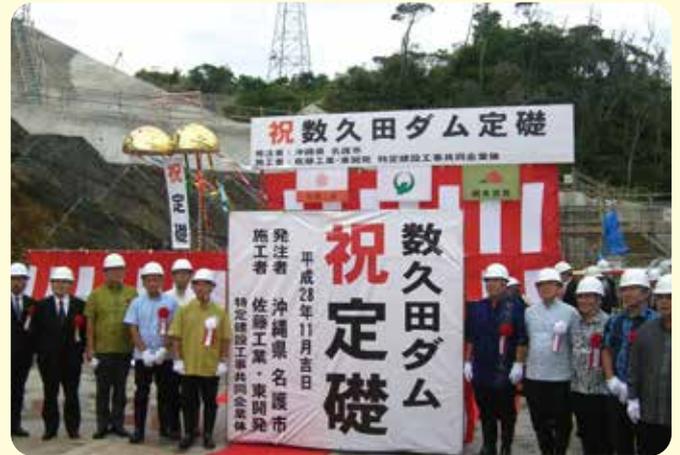
平成 28 年 11 月 22 日、名護市数久田地区において、数久田地区用水対策事業(数久田ダム)に係る定礎式が挙行され、稲嶺名護市長をはじめ比嘉数久田区長や多くの関係者の方々と、当局からは高木次長ほか関係職員が出席し、工事の安全などを祈願しました。

数久田地区用水対策事業(数久田ダム)は、農耕地の用水不足を防止・軽減するための障害防止対策事業です。

本事業は平成 16 年度に着手し、平成 31 年度の完成を予定しておりますが、本年度無事にダム本体工事に着手し、定礎式を迎えることができましたことは、当局にとりましても大変喜ばしいことであり、1 日も早いダムの完成と安全にダム建設が完了することを心より祈願致します。



高木次長による祝辞



定礎式の様子

恩納村安富祖地区におけるダム建設工事定礎式

平成 28 年 11 月 25 日、恩納村安富祖地区において、洪水対策事業(安富祖ダム)に係る定礎式が挙行され、長浜恩納村長をはじめ宮里安富祖区長や多くの関係者の方々と、当局からは高木次長ほか関係職員が出席し、工事の安全などを祈願しました。

洪水対策事業(安富祖ダム)は、下流河川の氾濫を防止・軽減するための障害防止対策事業です。

本事業は平成 17 年度に着手し、平成 30 年度の完成を予定しておりますが、本年度無事にダム本体工事に着手し、定礎式を迎えることができましたことは、当局にとりましても大変喜ばしいことであり、1 日も早いダムの完成と安全にダム建設が完了することを心より祈願致します。



定礎式の様子



数久田ダム及び安富祖ダムは、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第 3 条に基づき、障害防止対策事業費補助金を活用し実施している事業です。

入札・契約制度説明会の実施

平成28年10月6日、宜野湾市商工会建設業部会から要請を受け沖縄防衛局の建設工事に係る入札・契約制度説明会を開催し、当局から茂籠調達部長、総務部契約課及び調達部調達計画課の担当者を説明者とし、宜野湾市の数多くの企業に参加していただきました。

冒頭、佐喜眞宜野湾市長から、「この説明会が沖縄防衛局発注工事の受注につながり、更に、市内の企業の成長と宜野湾市の発展及び活性化につながることを期待します。」と挨拶をいただきました。続いて中嶋局長から、「当局が行う事業の推進には地元企業のご協力が必要であり、この説明会により当局の入札・契約制度について理解を深めていただけるように」と挨拶しました。

また、同年12月2日に(一社)沖縄県建設業協会宮古支部、12月19日に沖縄商工会議所からも要請を受け、入札・契約制度説明会を開催し、宮古島市及び沖縄市の数多くの企業に参加していただいたところです。

当局が発注する建設工事の入札・契約方式は、原則一般競争入札であり、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式を導入しています。

当局は、総合評価落札方式の中でも参加される企業にとって事務手続きの負担が軽減される「施工能力評価型」を試行的に導入しております。

①この方式の適用範囲を3億円未満から5億円未満まで拡大したこと、②地域優良企業を活用する特定建設工事共同企業体による参加を可能としたこと、③企業や配置予定技術者の工事成績に係る評価において、地方防衛局等以外の地方公共団体の工事成績についても評価の対象とすることなど、地元企業がより入札に参加しやすい環境整備に係る施策の取り組みについて説明を行うとともに、あわせて、今年度の工事発注の見通しについても説明しました。



沖縄商工会議所への説明会の様子

「平成28年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式」開催

平成28年10月18日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンター劇場ホールにおいて、沖縄県内の米軍施設に勤務する在日米軍従業員の永年勤続者表彰式が行われました。

この表彰式は、長年にわたり米軍施設に勤務してこられた従業員の方々の功労を称えることを目的に、毎年在日米軍との共催で実施されているものです。

本年度は、10年表彰237名、20年表彰747名、30年表彰99名、40年表彰5名の計1,088名の方が受賞されました。

式典では、主催者を代表して中嶋沖縄防衛局長及び米国海兵隊太平洋基地司令官のマラヴェット少将の挨拶に続き、局長及び各軍司令官等から各軍等の代表者5名に表彰状と記念品が授与されました。

その後、来賓の浦崎沖縄県副知事をはじめ、新里沖縄県議会議長、沖縄米国総領事館ジェニファー・ニコルズ首席領事、與那覇全駐労沖縄地区本部執行委員長から祝辞をいただき、最後に勤続30年を迎えられたキャンプ瑞慶覧勤務の島袋栄秀様が受賞者を代表して謝辞を述べられました。

表彰式終了後に行われた懇談会では、受賞者の方々が各軍司令官等と記念撮影や談笑する場面があちこちで見られ、思い出に残るすばらしい1日になったことと思います。

受賞者の皆様おめでとうございます



受賞者代表からの謝辞

美ら島エアースタ2016開催

平成28年全国各地で行われた航空祭の最後をかざる航空自衛隊那覇基地「美ら島エアースタ2016」が、12月10日及び11日の初の2日間開催とし、県内外の航空ファンや大勢の家族連れなど約4万5千人が訪れました。

当日の天候は晴天で、気温も24度前後と半袖がちょうど良い行楽日和となりました。正門前には午前7時頃に最初の来場者が並びはじめ行列ができ、午前10時前の開門と同時に早朝からオープンを待ちわびた来場者が一斉に入場しました。

格納庫内コンサート、商工フェア、「ブルーインパルス」、各種アトラクション、広報展示、消防車射的等、充実した展示が来場者から喜ばれました。

また、海上保安庁、警察、那覇市消防局、陸上自衛隊の防災展示等にも関心が寄せられ、中でもナイトフライト及びプロジェクションマッピングは、今回の一番の出し物であり、多くのお客様に満足していただきました。

(寄稿:航空自衛隊第9航空団基地渉外室)

「美ら島エアースタ2016」の会場の様子 於:航空自衛隊那覇基地



「ブルーインパルス」のフライト



南西航空音楽隊と小禄高校の生徒による演奏



長蛇の列が途切れなかった戦闘機の操縦席体験



小禄高校マーチングバンド部による演奏



基地所属隊員によるエイサー演舞

県内各地でクリスマスイベント開催

キャンプ・シュワブ

平成28年12月3日、キャンプ・シュワブの近隣に所在する久辺小学校の児童を招いて、クリスマスチルドレンデイが開催され、約150人の児童が参加しました。

冒頭、ノートン司令官が、「今日は私たちのクリスマス・パーティーに来て頂き、皆さんを歓迎します。50年以上に渡るキャンプ・シュワブと皆さんの友好の証でもあり、どうぞ楽しんでいって下さい」と挨拶を述べました。嘉陽辺野古区長は、「35回目を迎えられたのも、辺野古区とキャンプ・シュワブの友好な関係からなる賜物です。昨年からは久志や豊原の子供たちも招待していただき、このような機会を子供たちに提供してくれたノートン司令官やほかの皆さんに感謝します」と謝辞を述べました。昼食には200食分のホットドッグやポテトチップス、また、辺野古区が用意した沖縄そば400食が振る舞われました。

同パーティーの最後には、全児童がサンタから直接クリスマスプレゼントを受け取り、地元児童は喜びの中、一足早く迎えたクリスマス・パーティーを終えました。



サンタからプレゼントを受ける子どもたち



点灯式でのノートン司令官(左)と嘉陽辺野古区長(中央)及び宮城豊原区長(右)

キャンプ・ハンセン

平成28年12月10日、金武町社会福祉センターにおいて今年で3回目となる「トイ・ドライブ クリスマス会」と名付けられたクリスマスパーティーが開かれました。キャンプハンセンに司令部を置く第3情報大隊の海兵隊員やその家族等が金武町の子供達のためにおもちゃの寄付を募り、毎年クリスマス会の最中にプレゼントをするのです。今年は10歳から14歳のアメリカ人の子ども達で構成された「ヤングマリン」の参加もあり、日米の子ども達総勢30名以上が集まり、クリスマスを祝いました。金武町社会福祉協議会長さんや第3情報大隊長アジズ中佐の挨拶の後、お待ちかねのサンタクロースが登場し、子ども達一人ひとりにプレゼントを手渡し記念撮影を行いました。たくさんのプレゼント、お菓자에ケーキやジュース、そして子どもの笑顔が溢れる素敵なクリスマス会となりました。

(寄稿:キャンプ・ハンセン 基地渉外官 嘉陽貴幸)



「トイ・ドライブ クリスマス会」の様子

第43回辺野古区区民大運動会開催

平成28年11月1日、爽やかな秋空の下、第43回辺野古区民運動会が開催されました。

辺野古区の運動会では区民の方々や沖縄高専の学生のほか、辺野古11班としてキャンプ・シュワブ所属の海兵隊員とその家族が参加し、区民らと交流を深めました。

また、当局からも中嶋局長ほか職員が参加し、リレー競争などに出場し、区民との交流を深めました



楽しく輪になって踊る中嶋局長など

第34回豊原区区民大運動会で区民友好



幼児にお菓子を渡す、アントニー氏(右)

選手として、また、幼児への景品を渡すなどして参加し、区民と友好を深める事が出来ました。

また、当局からも中嶋局長ほか職員が参加し、障害物リレーなどに出場し、区民との交流を深めました。

平成28年11月1日、晴天に恵まれた秋空の下、第35回豊原区区民大運動会が開催されました。豊原区の運動会は第1班から3班の健康増進と親和を目的に開催されており、昨年からのキャンプ・シュワブ所属隊員も招待され、当日は、キャンプ・シュワブで英会話講師を務めているアントニー夫妻も来賓として参加しました。

アントニー夫妻は、日本独特の競技に戸惑いながらも、

陸上自衛隊第15旅団 旅団音楽まつり開催

平成28年12月18日、陸上自衛隊第15旅団「旅団音楽まつり」が嘉手納町のかでな文化センターにて行われました。

「旅団音楽まつり」は年1回行われており、今年が4回目となります。出演者は陸上自衛隊第15旅団隊員で構成される第15音楽隊、旅団エイサー隊及び旅団らっば隊のほか、外部団体として琉球大学モダンジャズオーケストラ、昭和薬科大学付属高等学校・中学校合唱部及び名護桜太鼓も加わえ、地域の皆様と旅団との強い絆と一体感を披露する演奏となりました。

演奏は第15音楽隊から始まり、各団体の演奏が行われた後、最後は全出演者による演奏でフィナーレを飾り、感動の内に幕となりました。



第15音楽隊によるオープニング



旅団らっば隊



旅団エイサー隊



全演奏者によるフィナーレ



ハイサイくん

「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。

連絡先：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290-9 沖縄防衛局総務部報道室

メールアドレス：houdou@okinawa.rdb.mod.go.jp